

**JSDD
2020
Kansai**



一般社団法人 日本発達心理学会第31回大会ご案内

会期：2020年3月2日(月)～4日(水)

会場：大阪国際会議場

(グランキューブ大阪)

参加・発表・企画申込と原稿投稿のメ切り
同時で10月20日です！

ご挨拶

日本発達心理学会の会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日本発達心理学会は大会が始まって以来30回を数え、次回の第31回大会は2020年3月2日(月)から3月4日(水)の3日間、大阪中之島の大阪国際会議場(グランキューブ大阪)で開催することとなりました。

1989年12月1日、神田一ツ橋の学士会館の2階ホールには、初代の理事長に就任した東洋先生始め、そうそうたる発達心理学者が集まり、日本発達心理学会の設立総会が開催され、翌年の1990年3月28日、29日の2日間、白百合女子大学で第1回大会が開催されました。発足時会員数は408名、7月5日時点では830名であったと記録されています。第1回大会のプログラムはわら半紙に手作りであったかと記憶しています。第2回からは、プログラムの内容も外見も変わり、その後年々発展の一途を辿り、第2回大会以後、はたして学会として発展していけるかという当初の懸念は杞憂に終わりました。

この30年の間に、発達心理学は、少子高齢化、子育てや虐待といった家庭、家族、親子や友人間の問題、引きこもり、不登校などの問題、さらにiPSとの関連性、IT化、ロボット工学など他分野との結びつきなど多岐にわたるかわり、また日常生活においては経済学などとの結びつきなど、発達心理学と他の研究分野との新しい結びつきが広く深く変化し、それによる方法論の問題も新しく浮上してきました。言葉を変えるならば、発達心理学の日常化の深化と拡大、ということになるでしょうか。このような中で、発達心理学会の会員数の増加や研究領域の多様性に注目して本大会のテーマは、「今、改めて、発達を考える」としました。

発達心理学会の会員数の増加に大会を開催することの出来る地域が限られてきました。今後は、理事会等の協力を得て多くの地域で大会を開催し、出来るだけ多くの会員が参加し、研究発表や情報の交流を行い各地域の偏りのない発達心理学の発展に資することが必要となってきました。そのため、今回の第31回大会は日本発達心理学会理事会とも一緒に関西地区懇話会が担当して大会を実施いたします。事情をお汲み取りいただき、会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

関西の3月初旬の朝夕はまだ寒さの残る頃ですが、新しい時代を見据えてアカデミック・プログラムをいっそう充実させ、多くの会員の皆様のご参加を大会委員一同お待ちしております。

2019年7月

日本発達心理学会第31回大会委員長

南 徹 弘 (関西地区懇話会会長・大阪大学名誉教授)

目次

1. 送付物一覧	p. 2
2. 会期・会場	p. 2
3. 実施内容	p. 2-6
4. 大会参加の手続き	p. 7-10
5. 大会に関する広報・諸連絡	p. 10-11
6. 第 31 回大会および学会に関する連絡先	p. 11-12

1. 送付物一覧 (今回お送りしたもの)

■「大会ご案内」(本通信)

■「郵便振替用紙」

※不足するものがあれば日本発達心理学会第 31 回大会サポートデスクにご連絡ください。

→連絡先 E-mail : g032jsdp-support@ml.gakkai.ne.jp

※2 号通信は送付しません。原稿作成要領については大会 Web サイトをご参照ください。

2. 会期・会場

■会期：2020 年 3 月 2 日 (月)～4 日 (水)

■会場：大阪国際会議場 (グランキューブ大阪：大阪市北区中之島)

会場へのアクセスについては、大会 Web サイトをご覧ください。

3. 実施内容

本大会の実施内容には、大会委員会および学会等が企画するものと、関連団体または会員が企画するものがあります。次に、それぞれの概要と発表形態、参加方法などについて説明します。

3-1. 大会委員会および学会等が企画するもの

[1] 大会特別プログラム——今、改めて、発達を考える——

今大会のテーマ「今、改めて、発達を考える」を基とした特別プログラムを企画しました。以下の 3 件を予定しています。演題は仮題です。詳細は大会プログラムでご案内します。

基調講演

◇講演者：南 徹弘 氏 (大阪大学名誉教授)

演 題：発達心理学の日常化の深化と拡大

特別シンポジウム

◇発達心理学の日常化の展開 1：科学技術と発達

◇発達心理学の日常化の展開 2：生活と発達

【2】招待講演

以下の1件を予定しています。演題は仮題です。詳細は大会プログラムでご案内します。

◇講演者：Claire Hughes氏（ケンブリッジ大学・教授）

演題：Family Influences on Theory of Mind

【3】大会委員会企画シンポジウム

以下の4件を予定しています。演題は仮題です。詳細は大会プログラムでご案内します。

- ◇個体発達を生態学から再検討する
- ◇公認心理師に必要な発達心理学の学びと実践
- ◇アニミズム再考：Developmental Cyberneticsの視点から
- ◇「所有からシェア」の時代における「所有」を考える

【4】学会企画シンポジウム

以下の企画を予定しています。演題は仮題です。詳細は大会プログラムでご案内します。

各種委員会企画シンポジウム 他

- ◇発達心理学研究編集委員会企画 親性の統合的理解を目指して
- ◇国内研究交流委員会企画 「10年後」の発達心理学の話をしよう
—情報技術，持続可能性，多文化の視点から—

関連学会・団体との共催シンポジウム 他

※他学会等との共催および各種委員会の企画の場合は，企画費は徴収いたしません。ただし，日本発達心理学会の分科会や地区懇話会は関連団体となるため，企画費が必要です。他学会等との共催および各種委員会による企画につきましては，大会委員会（meeting2020@jsdp.jp）に企画代表者が直接お申し込みください。

【5】大会委員会企画ラウンドテーブル

ご挨拶にもお示ししましたように，今大会を担当する大会委員会は「関西地区懇話会」が中心となっています。これは日本発達心理学会年次大会30年の歴史の中で初めての試みです。日本発達心理学会の特徴の一つとして，日常的には地区懇話会・分科会により，そして大会時にはラウンドテーブルにより，研究交流を促進していました。これを受け，本大会委員会は以下のラウンドテーブルを企画しました。詳細は大会プログラムでご案内します。

- ◇発達心理学会地区懇話会・分科会のこれまでとこれから—日本発達心理学会30年の歩み—

3-2. 関連団体または会員が企画するもの

■以下の表に示す4つの種類があります。詳細は表以降の文章をご覧ください。

	【1】 学会関連団体による 企画シンポジウム	【2】 自主シンポジウム	【3】 ラウンドテーブル	【4】 ポスター形式の 研究発表
1) 企画者	関連団体	会員	会員	会員
2) 発表形態	企画者が出演者を決め、研究発表や討論	企画者が出演者を決め、研究発表や討論	企画者と参加者が自由に討論	ポスターを掲示し、質問者と個別に討論
3) 発表時間	120分	120分	120分	掲示120分 在席50分
4) 申込方法	Webサイトから規定の要領でお申し込みください			
5) 論文集割当頁	2ページ	2ページ	1ページ	1ページ
6) 企画費	10,000円	20,000円	10,000円	大会参加費に含む

【1】日本発達心理学会関連団体による企画シンポジウム

- 1) 企画者 日本発達心理学会における分科会や地区懇話会、あるいは臨床発達心理士認定運営機構などの関連団体による企画を想定しています。ここには、理事会および各種委員会による企画は含まれません。
- 2) 発表形態 下記の「【2】自主シンポジウム」と同様
- 3) 発表時間 120分
- 4) 申込方法 企画代表者が、Webサイトから、規定の要領で企画申し込みをしてください。
- 5) 論文集割当頁 大会論文集2ページ分。原稿作成要領はWebサイトをご参照ください。
- 6) 企画費 10,000円。企画代表者が参加費と共にお支払いください。

【2】自主シンポジウム

- 1) 企画者 会員
- 2) 発表形態 企画者が出演者（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど）を決め、シンポジウム形式で研究発表や討論をするものです。
会場は、100名程度収容可能な部屋です。
※会場系のスタッフが設備の使用に関するお手伝いはしますが、プロジェクターなどの操作は出演者でお願いいたします。
※コピー機の使用およびスタッフによるコピー代行はできません。
※資料、飲み水等が必要な場合には、企画者自身で事前にご用意ください。
- 3) 発表時間 120分
- 4) 申込方法 企画代表者が、Webサイトから、規定の要領で企画申し込みをしてください。
※倫理的な問題等により開催が認められない場合があります。また、企画数が多い等の理由で開催ができない場合もあります。

- 5) 論文集割当頁 大会論文集 2 ページ分。原稿作成要領は Web サイトをご参照ください。
- 6) 企画費 20,000 円。企画代表者が参加費と共にお支払いください。
- 7) 企画・出演回数 自主シンポジウムを企画申込できる回数は 1 回とさせていただきます。
また、出演回数はラウンドテーブルと合わせて大会中 1 人 2 回までとさせていただきます。
※企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には出演の形式を問わず、その企画への出演者とみなします。
- 8) 参加費納入 **会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の納入が必須です。**
非会員が出演する場合（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等）、連名費は不要です。大会参加費は大会期間内に支払う必要があります。
※シンポジウム開催当日までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。
※同一非会員が複数の発表・企画に出演される場合でも、p.9 一覧表の注 4) に記載のように、大会参加費は大会期間中有効ですので、1 回のみ一人分支払うことになります。

[3] ラウンドテーブル

- 1) 企画者 会員
- 2) 発表形態 同じ問題意識を持った者同士の自由な議論が主体の企画です。
企画者は参加者に話題を投げかけ、討論を促します。必要に応じて、話題提供者やファシリテーターを設定してもかまいません。
会場は、50 名程度収容可能な部屋です。
※会場系のスタッフはつきません。
※コピー機の使用およびスタッフによるコピー代行はできません。
※資料、飲み水等が必要な場合には、企画者自身で事前にご用意ください。
- 3) 発表時間 120 分
- 4) 申込方法 企画代表者が、Web サイトから、規定の要領で企画申し込みをしてください。
※倫理的な問題等により開催が認められない場合があります。また、企画数が多い等の理由で開催ができない場合もあります。
- 5) 論文集割当頁 大会論文集 1 ページ分。原稿作成要領は Web サイトをご参照ください。
- 6) 企画費 10,000 円。企画代表者が参加費と共にお支払いください。
- 7) 企画・出演回数 ラウンドテーブルを企画申込できる回数は 1 回とさせていただきます。
出演回数は自主シンポジウムと合わせて大会中 1 人 2 回までとさせていただきます。
※企画者、司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーターなど、論文集原稿に名前が記載される場合には出演の形式を問わず、その企画への出演者とみなします。

8) 参加費納入

会員・非会員にかかわらず、企画出演者は大会参加費の納入が必須です。

非会員が企画に出演する場合（司会者、話題提供者、指定討論者、ファシリテーター等）、連名費は不要です。大会参加費を大会期間内に支払う必要があります。

※ラウンドテーブル開催当日までに、企画費と出演者全員の大会参加費が納入されない場合には、企画として認められませんのでご注意ください。

※同一非会員が複数の発表・企画に出演される場合でも、大会参加費は p.9 一覧表の注 4) に記載のように大会期間中有効ですので 1 回のみ一人分支払うこととなります。

【4】ポスター形式の研究発表

1) 研究発表者

責任発表者および筆頭者になれるのは会員のみです。連名発表者は非会員も可とします。

2) 発表形態

個人または複数の人がポスター形式で研究を発表するものです。

ポスターパネル（横 90 cm×縦 210 cm の予定）にポスターをセッション開始時刻までに掲示し、それをもとに発表者と質問者が個別に討論します。

連名発表者も大会に参加し発表することが期待されていますが、責任在席時間はありません。連名発表者は申込者と共同で研究した者に限ります。

3) 発表時間

ポスターの掲示時間は 120 分、責任在席時間は決められた 50 分です。

※「大会論文集への発表論文の掲載」「掲示時間内のポスター掲示」と「掲示場所での責任在席時間内の個別討論」の全てを行うことによって、公式発表と認められます。以上 3 つの要件について変更、不備・不足があった場合には、大会委員会は学会と協議しその取り扱いを決定し、その決定を学会誌広報欄で報告します。

4) 申込方法

責任発表者が、Web サイトから、規定の要領で発表申し込みをしてください。

※倫理的な問題等により開催が認められない場合があります。

5) 論文集割当頁

「大会論文集」1 ページ分。原稿作成要領は Web サイトをご参照ください。

※責任発表者が参加申込費を期日までに納入しない場合には、論文集への掲載はできませんのでご注意ください。

6) 研究発表費

大会参加費に含まれます。

非会員の連名発表者がいる場合は発表費の額が異なります。p.9 の諸費用一覧の通り、増額になります。ご注意ください。

7) 発表回数

責任発表者となれるのは、大会期間中 1 回に限ります。ただし、連名発表者となる場合には回数の制限はありません。

8) 連番発表

複数名による研究グループが連番発表を行う場合も、責任発表者が各自 Web で入力を行い、規定の要領で発表申し込みをしてください。Web での申し込みの際、「連番発表の希望」チェックボックスにチェックを入れ、すべての連番発表筆頭者の会員番号と氏名を入力するようにしてください。また、論文集のタイトルも連番発表であることがわかるようにご留意ください。

9) 利益相反の申告

外部との経済的な利益関係等がある場合（一定の限度を超えた場合に限り）には、p.8 の「【5】注意事項」をご覧ください、利益相反の申告をお願いします。

4. 大会参加の手続き

■はじめに

◇本大会では、大会参加の申込、発表・企画の申込、大会論文集原稿の投稿のメ切を同じ日に設定しました。手続きのメ切及び一覧表を、p. 10に掲載しています。

◇すべての手続きは大会 Web サイト (<http://www.jsdp.jp/jsdp2020/>) で行います。

※大会参加に関する問題やご質問がある場合は、日本発達心理学会第 31 回大会サポートデスクにご相談ください。

→連絡先 E-mail : g032jsdp-support@ml.gakkai.ne.jp

※なお、いずれの申込も、大会 Web サイトでの手続き後、「費用の納入」をもって完了します。

【1】大会参加の申込

◇大会に参加し発表や企画を行う会員は、まず「大会参加の申込」を行ってください。

◇メ切は、**2019 年 10 月 20 日 (日) 17 時**です。

※あらかじめ 2019 年度の年会費が納入されていることが必要です。年会費についてのお問い合わせは、上記大会サポートデスクまでご連絡ください。

※参加の申し込みは、会員情報管理システム (SOLTI) を用いて行われます。会員情報に変更や修正事項がある場合には、参加登録をする際、**事前に会員登録情報ページにて各種情報の確認・訂正をお願いします**。大会に関する連絡を会員情報ページのものとは別の住所に希望する場合には、会員情報は変更せず、大会参加申し込みの段階で連絡先を変更してください。この場合、会員情報は変更されません。

※非会員は、事前の大会参加申込はできません。

【2】発表・企画の申込

◇「大会参加の申込」終了後、「発表・企画の申込」が可能です。

◇メ切は、**2019 年 10 月 20 日 (日) 17 時**です。

◇会員が行う発表・企画の形式は以下の 4 つです。

- ・関連団体による企画シンポジウム
- ・自主シンポジウムの企画
- ・ラウンドテーブルの企画
- ・ポスター発表

【3】大会論文集原稿の投稿

◇発表・企画の申込をした方は、大会論文集原稿を投稿してください。

◇メ切は、**2019 年 10 月 20 日 (日) 17 時**です。

※メ切までに投稿がない場合、発表・企画は取り消されますので、ご注意ください。

【4】費用の納入

◇費用は p. 9 の一覧表のとおりです。納入は、クレジットカードまたは郵便振替でお願いします。

- ・クレジットカードの場合：大会 Web サイトの指示に従ってください。
- ・「郵便振替用紙」の場合：振込用紙に記載された会員番号・氏名等を確認いただき、必要事項をご記入の上、お振込ください。

◇メ切は、**2019年10月31日(木)**です。

※メ切までに参加費・企画費の納入がない場合、発表・企画は取り消されますので、ご注意ください。
※大会参加のみ申し込みの場合も、10月31日(木)を過ぎますと、参加費は「当日料金」となりますので、必ず10月31日(木)までに納入してください。

[5] 注意事項：お読みください！

◇関連団体企画シンポジウム／自主シンポジウム／ラウンドテーブル：企画者の費用納入とともに、企画出演者である会員全員が大会参加費を納入する必要があります。なお、非会員の出演者については、大会参加費を当日、受付でお支払いください。企画費・大会参加費を納入していない場合、該当するプログラムを公式に開催することができません（企画として認められません）ので、ご注意ください。

◇費用の返却：納入された費用は、「発表取り消し」等の自己都合による場合、返却できません。あらかじめご了承ください。

◇学部学生の発表：2020年3月卒業予定等の学部学生も発表者になることができます。ただし、発表申込前までに2019年度会費の納入を含めて学生会員の入会手続きを完了していることが必要です。

◇年会費の納入：いずれの発表・企画についても、2020年度会費を発表当日までに納入していることが必要です。2020年3月卒業予定等の学部学生が発表者になる場合も同様です。（定款では、翌年の会費を12月末日までに支払うことになっています。）

◇利益相反の申告：2019年3月16日に行われた社員総会で「利益相反に関する指針」が承認されました。利益相反（Conflict of Interest：COI）とは、外部との経済的な利益関係等によって、公的研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、又は損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態をいいます。「経済的利益関係」とは、研究者が、自分が所属し研究する機関以外の機関との間で給与等を受け取る等の関係を持つことです。

今大会から、ポスター発表者には本会が定めた「利益相反（COI）に関する指針」に基づき（一定の限度を超えた利益相反がある場合に限り）、研究に関わる利益相反の申告を行うことが求められます。該当者が行う具体的手続きの詳細については、後日大会 Web サイトにてお知らせします。

[6] 大会論文集 CD-ROM の事前予約購入

◇大会論文集 CD-ROM の事前予約の代金は会員 4,000 円（送料含む）、機関購読 5,000 円（送料含む）です。

※大会参加費を納入された方には、大会前にプログラムと一緒に1枚送付されますので、それ以外に必要な枚数をご予約ください。

◇プレス枚数は予約購入数により決定しますので、機関購読をご希望の場合、事前予約をおすすめします。

◇**2019年10月20日(日)**までに、下記の事項を日本発達心理学会第31回大会サポートデスクにお送りください。

➔連絡先 E-mail：g032jsdp-support@ml.gakkai.ne.jp

- ・機関名（領収書の宛先名義）
- ・担当者
- ・連絡先
- ・部数
- ・その他（見積書、納品書、請求書が必要な場合は、その旨を明記してください。）






■大会参加の諸費用一覧（税込，ただし会員参加費・企画費は不課税）

費用	対象	事前	当日 ¹⁾	備考	
大会参加費 (大会論文集 CD-ROMの 代金を含みます。 ただし、非会員の 学部学生を除く。)	一般 会員	大会参加のみ	12,000 円	13,000 円	
		大会参加・発表 非会員連名者なし	12,000 円	—	
		大会参加・発表 非会員連名者あり	16,500 円	—	ポスター発表で連名者に非会員がいる 場合。1名でも複数名でも同じです。
	学生 ²⁾ 会員	大会参加のみ	9,000 円	10,000 円	
		大会参加・発表 非会員連名者なし	9,000 円	—	
		大会参加・発表 非会員連名者あり	13,500 円	—	ポスター発表で連名者に非会員がいる 場合。1名でも複数名でも同じです。
非 会員	一般・大学院生	—	15,000 円	当日受付のみ。 ^{3) 4)}	
	学部学生 ⁵⁾	—	1,000 円	当日受付のみ。 ^{3) 4)}	
自主シンポジウム 企画費	企画申込者	20,000 円	—	企画申込者が支払います。	
関連団体シンポジ ウム／ラウンド テーブル企画費	企画申込者	10,000 円	—	企画申込者が支払います。	
大会論文集 CD-ROM	<u>追加購入</u> 希望者 ⁶⁾	4,000 円	5,000 円	CD-ROMのみ。大会参加費納入者には 大会前に1枚送付されます。	
大会プログラム	<u>追加購入</u> 希望者	1,000 円	1,000 円	会員には大会前に1冊送付されます。 追加購入される場合の金額です。	
懇親会費	一般会員	5,000 円	6,000 円		
	学生会員	1,000 円	2,000 円		
	非会員	—	6,000 円		

※※注意※※

- 1) 当日受付：発表・企画の申込をしておらず，事前の参加申込をしていない方でも，当日，受付にて大会参加費を支払うことで参加できます。
- 2) 本学会における学生会員は学部学生・大学院生・研究生です。
- 3) 非会員に関わる費用：非会員が「大会会場に来られる場合」は，連名発表やシンポジウム／ラウンドテーブルでの出演の有無にかかわらず，当日，受付で大会参加費をお支払いください。
- 4) 当日受付の大会参加費は，支払われた日だけではなく，大会期間中（3日間）の参加費となります。
- 5) 学部学生の大会参加費には，大会論文集 CD-ROM の代金は含まれていません。
- 6) 会員のみ事前予約の料金が適用されます。購読機関は事前販売でも 5,000 円（税込）となります。

■各手続きのメ切

2019年9月	
事前参加申込	開始  10月20日(日)17時メ切
すべての発表・企画申込 (関連団体企画・自主シンポジウム・ ラウンドテーブル・ポスター)	開始  10月20日(日)17時メ切
すべての発表・企画の論文集原稿投稿	開始  10月20日(日)17時メ切
事前参加費・企画費納入	開始  10月31日(木)メ切
大会論文集追加購入費等納入	開始  10月31日(木)メ切

【7】個人情報の取り扱いについて

本大会の申込や問い合わせにより得られた個人情報は、個人情報保護法に基づき、諸連絡、支払いの確認といった本大会運営上必要な業務にのみ使用し、それ以外には使用いたしません。

5. 大会に関する広報・諸連絡

【1】これからの諸連絡

◇2号通信は、送付しません。

◇今後の諸連絡は、すべて大会 Web サイト (<http://www.jsdp.jp/jsdp2020/>) にてお知らせいたします。

◇諸費用の納入は、基本的に大会 Web サイトからクレジット決済にてお願いします。

クレジット決済で納入をしない場合は、同封の「郵便振替用紙」をご利用ください。

【2】日本発達心理学会・会費の納入

◇第31回大会で研究発表をする場合には、2019年度の会費を参加申込の前までに、2020年度会費を発表当日までに納入してください。両方を納入していない場合には、大会での発表の権利を失うことがあります。

◇会費については、日本発達心理学会会員管理事務局にお問い合わせください。

→連絡先 E-mail : g032jsdp-support@ml.gakkai.ne.jp

【3】日本発達心理学会への入会

◇日本発達心理学会に入会していない方が会員(一般会員/学生会員)として研究発表を行うためには、参加申込の前までに2019年度会費の納入を含めて日本発達心理学会への入会手続きを完了していることが必要です。入会申込後、入会承認手続きが行われます。

◇入会申込 URL は、<http://www.jsdp.jp/contents/base/nyukai.html> です。

◇入会手続きについては、日本発達心理学会会員管理事務局にお問い合わせください。

→連絡先 E-mail : g032jsdp-support@ml.gakkai.ne.jp

【4】 宿泊について

◇大会 Web サイトにて、宿泊のご案内をいたしますが、大会としてご案内できる室数には限りがありますのでご注意ください。詳細は、大会 Web サイトの更新をお待ちください。

【5】 その他

(1) 会務報告会，学会賞・国際奨励賞 授与式

◇会務報告会および各賞の授与式を行います。

◇大会 2 日目：3 月 3 日（火）を予定しています。

◇詳細は大会 Web サイトおよびプログラムにてご案内いたします。

(2) 懇親会

◇日時：大会 2 日目 3 月 3 日（火）18 時 30 分～

◇会場：大阪国際会議場 12 階（最上階） レストラングラントック

◇会費：事前申込 5,000 円（学生会員 1,000 円），当日参加 6,000 円（学生会員 2,000 円）

(3) 託児室

◇小さいお子様をお連れの参加者を支援するために、会場近くに託児室を開設します。

◇託児室の利用は**有料**です。

◇料金や申し込み方法など、詳細は、後日大会 Web サイトおよびプログラムにてお知らせします。

(4) 書籍および機器の展示

◇大会期間中に、会場内において書籍や機器の展示を行います。

6. 第 31 回大会および学会に関する連絡先

【1】 大会総合窓口

◇会場や大会全般に関する質問は、E-mail で大会総合窓口にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会第 31 回大会総合窓口

E-mail：meeting2020@jsdp.jp

第 31 回大会 Web サイト：http://www.jsdp.jp/jsdp2020/

【2】 日本発達心理学会会員管理事務局・大会サポートデスク

◇大会参加・発表申込，参加費納入，日本発達心理学会への入会に関する質問は，E-mail で下記にお問い合わせください。

一般社団法人日本発達心理学会会員管理事務局・大会サポートデスク

〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1 丁目 24-1 4 階 (株)ガリレオ内

E-mail：g032jsdp-support@ml.gakkai.ne.jp

TEL：03-5981-9824

【3】学会事務局

一般社団法人日本発達心理学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-5 平清ビル 401

E-mail : office@jsdp.jp

FAX : 03-5840-9338

学会 HP : <http://www.jsdp.jp/>

《NOTE》